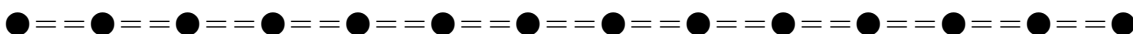
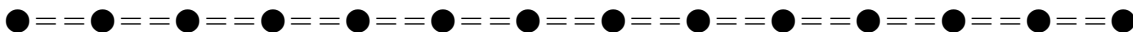


平成28年6月10日発行



B i o T e c h T O K A I ーメールマガジン 第138号ー

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成28年度地域産学連携支援委託事業
 - ☆ NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および第1回セミナー (平成28年6月23日)
 - 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆名城大学公開講座「大豆の恵み～美味しさと健康を考える～」 (平成28年6月11日)
 - 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報のURL
 - 4. 競争的研究資金について
 - ☆研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-Aタイプ (JST)
 - ☆大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト支援型 (JST)
 - ☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム (JST)
 - ☆研究開発成果実装支援プログラム (JST)
 - ☆平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (プロジェクト委託型) (NEDO)
 - ☆平成28年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 (2次公募) (環境省)
 - ☆平成28年度戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE) (総務省)
 - ☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
 - ☆民間の競争的研究資金を26件掲載
 - ☆研究開発関連以外の資金を3件掲載
 - 5. 新技術情報
 - ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介 (3件)

◆ 1 ◆ 平成28年度地域産学連携支援委託事業

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会は、平成28年度総会と第1回セミナーを下記の通り開催します。第1回セミナー及び情報交流会につきましては、会員以外の一般参加ができます。なお、会員以外の方の総会の傍聴は自由です。第1回セミナーの参加費は無料です。

【開催日時】 平成28年6月23日 (木) 14:30～16:45

(受付時間:14:00～)

【開催場所】 ウィンクあいち 1301特別会議室

(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

地図：<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【通常総会】 14:30～15:30

議題 1) 第1号議案 平成27年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2) 第2号議案 平成28年度事業計画・収支予算

3) 第3号議案 役員(理事・監事)の選出

4) その他

【第1回セミナー】 15:45～16:45

講演：「名古屋大学における知的財産と技術移転」

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部教授 鬼頭雅弘 氏

【第1回セミナー案内】 <http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/28-1-semina-160623.pdf>

【情報交流会】 17:00～18:30

場所 ウィンクあいち 1301特別会議室 (講演会場と同じ)

参加費 情報交流会のみ有料で 3,500円

【参加申込み】 下記 URL から申込み用紙を開き、所定の項目をご記入のうえ、ファックス又は、電子メールで6月16日(木)までに下記までご送付下さい。

<http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H28FirstSeminar.pdf>

【申込先、お問い合わせ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会事務局
事務局長 大石一史

TEL&FAX: 052-789-4586 E-mail: bio-npo@s4.dion.ne.jp

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学農学国際教育協力研究センター気付

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆名城大学公開講座「大豆の恵み～美味しさと健康を考える～」

【開催日時】 平成28年6月11日(土) 14:00～16:30

【開催場所】 名城大学天白キャンパス 共通講義棟東H304

(名古屋市天白区塩釜口1-501)

地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車 1番出口(右) 徒歩約4分

(大学構内には駐車場がありません)

【講師】 (1) 京都と共に時を刻む - 伝統産業の継承 -

千丸屋京湯葉株式会社 越智朋子 氏

(2) 豆乳および発酵豆乳の新たな可能性

マルサンアイ株式会社 江草信太郎 氏

【参加】 無料、定員300人、事前申込み不要。

【受講対象者】 一般市民、大学院生、大学生、高校生、小中学生、当該専門家

【お問い合わせ先】 名城大学 学術研究支援センター（総合研究所）

電話 052-838-2034 ファックス 052-833-7200

E-mail souken@ccmails.meijo-u.ac.jp

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成28年度競争的研究資金等について

☆研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージ3：NexTEP-A タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nextep-a-1.html>

分野等：企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援する。

公募期間：平成28年4月1日～7月29日

☆大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト支援型 (JST)

<http://www.jst.go.jp/start/boshu/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざす研究開発プロジェクトをJSTが支援する。

公募期間：平成28年3月9日～6月20日

☆問題解決型サービス科学研究開発プログラム (JST)

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：「未来を共創するサービス研究開発」の可能性調査

公募期間：平成28年4月28日～7月13日

☆研究開発成果実装支援プログラム (JST 社会技術研究開発センター)

<http://www.ristex.jp/examin/proposal.html>

分野等：多くの人々が解決を望む社会問題の解決に向けて、研究開発成果の実装に取り
組む活動を支援し、その対象領域としては

- (1)人口減少と高齢化が更に進行することによって生ずる課題
 - (2)環境・エネルギー・資源や食料などに関わる課題
 - (3)都市や地方の創生に関わる諸課題
 - (4)国民の安全・安心に関わる諸課題（災害の復旧・復興を含む）
 - (5)社会的弱者の支援・健全なこども・青少年の育成に関わる課題
- などを重視する。

公募期間：平成28年4月12日～6月16日

.....
☆平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業（プロジェクト委託型）（NEDO）

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100108.html

分野等：

- テーマ1 IoT、AI等を活用した「超スマート社会」の実現のための技術
- テーマ2 エネルギー、資源及び食料の安定的な確保又は地球規模問題への対応
技術
- テーマ3 超高齢化・人口減少社会等に対応する持続可能で安全・安心な社会の
実現のための技術
- テーマ4 国家戦略上重要なフロンティア開拓に資する技術

公募期間：平成28年5月2日～6月30日

.....
☆平成28年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（2次公募）（環境省）

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/28_a34/index.html

分野等：

1. 交通低炭素化技術開発分野
2. 建築物等低炭素化技術開発分野
3. 再生可能エネルギー・自立分散型エネルギー低炭素化技術開発分野
4. バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野

公募期間：平成28年5月23日～6月21日

.....
☆平成28年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（総務省）

独創的な人向け特別枠『異能vation』プログラム」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000170.html

分野等：ICT分野において破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる
可能性がある奇想天外でアンビシャスなICT研究開発課題に挑戦する人を支
援する。

公募期間：平成28年5月20日～6月27日

.....
☆ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000167.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心ICTサービス基盤
- (4) フレンドリーICTサービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上ICTサービス技術
- (7) 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC (Proof of Concept : 概念検証) に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成28年4月21日～(28年度中はいつでも応募可能)

.....
『民間の競争的研究資金』

☆公益財団法人ロッテ財団：「研究助成事業 奨励研究助成」

<http://www.lotte-isf.or.jp/promotion1.html>

分野等：(1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術、(2)食品のマーケティング、(3)食文化、(4)嗜好性、(5)栄養、(6)食品安全・衛生、(7)上記(1)から(6)の複合領域

公募期間：平成28年4月1日～6月27日

.....
☆公益財団法人住友財団：「基礎科学研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む)。

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

.....
☆公益財団法人住友財団：「環境研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：

一般研究：環境に関する研究

課題研究：喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究

公募期間：平成28年4月15日～6月30日

.....
☆積水化学工業株式会社：「2016年度自然に学ぶものづくり研究助成」

http://www.sekisui.co.jp/news/2016/1281774_26476.html

分野等：「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究（例えば、天然資源活用、新素材材料開発、環境浄化修復、農業・食品開発、生産製造システム、住宅・建築、まちづくり・ライフライン、医療・健康・生活などに関して、「自然」の機能を「ものづくり」に活用する研究・技術開発）

公募期間：平成28年5月9日～6月30日

.....
☆公益財団法人サントリー生命科学財団：「平成28年度 SUNBOR GRANT」

<http://www.sunbor.or.jp/topics/index.html>

分野等：生体内有機低分子の時空間局在解析や計測による生命現象の解明

公募締切日：平成28年6月30日

.....
☆一般財団法人キヤノン財団：「研究助成プログラム『産業基盤の創生』」

<http://www.canon-foundation.jp/aid/information.html>

分野等：日本の強い産業を更に強化する、あるいは新たな産業を興すことによって経済発展を促すような科学技術分野にあつて、独創的、先駆的、萌芽的な研究を対象とする。

分野は、将来社会において重要になることが想定される ICT・エレクトロニクス・ロボティクス、健康・医療・生命科学、バイオテクノロジー、環境・資源・エネルギー、材料・デバイス・プロセス、サービスサイエンス。社会的に複雑で難しい課題を解決するために、分野間の知的な触発や融合を図る挑戦的な新興・融合テーマなども対象として含める。

公募期間：平成28年6月1日～30日

.....
☆公益財団法人浦上食品・食文化振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.urakamizaidan.or.jp/archives/1000.html>

分野等：

1. 食品加工技術に関する研究
2. 食品と健康に関する研究
3. 香辛料食品に関する研究
4. 食嗜好に関する研究
5. 食品の安全性に関する研究

公募期間：平成28年6月1日～7月10日

.....
☆公益財団法人コスメトロジー研究振興財団：「2016年度コスメトロジー研究」

http://www.cosmetology.or.jp/research_support/researchSupport3.html

分野等：化粧品及びそれに関連する基礎的分野の課題

公募期間：平成28年5月9日～7月11日

☆一般財団法人キヤノン財団：「研究助成プログラム『理想の追求』」

<http://www.canon-foundation.jp/aid/information.html>

分野等：食に関する研究

公募期間：平成28年6月1日～7月15日

☆公益財団法人ロッテ財団：「研究助成事業 研究者育成助成（ロッテ重光学術賞）」

<http://www.lotte-isf.or.jp/promotion1.html>

分野等：(1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術、(2)食品のマーケティング、(3)食文化、(4)嗜好性、(5)栄養、(6)食品安全・衛生、(7)上記(1)から(6)の複合領域

公募期間：平成28年4月1日～7月19日

☆公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団：「研究助成」

<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>

分野等：粉体工学に関する基礎研究

公募期間：平成28年5月2日～7月20日

☆公益財団法人井上科学振興財団：「井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募締切日：平成28年7月29日

☆公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団：「2016年度岸本基金研究助成」

<http://www.senri-life.or.jp/grant/grant-1.html>

分野等：

1. 生命現象の解明
2. 健康の維持増進と疾病の予防・治療
3. 生物およびその諸機能の産業への応用

を基本的な分野とし、独創性・先行性があり、かつライフサイエンス振興への波及効果が期待できるもの。

公募期間：平成28年6月1日～7月29日

☆公益財団法人ダノン健康栄養財団：「平成29年（2017年）度ダノン学術研究助成金」

<http://www.danone-institute.or.jp/research.html>

分野等：「栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究」

特に重点をおく研究テーマ：小児および高齢者の栄養、食習慣についての疫学、および乳製品・プロバイオティクスの有用性

公募期間：平成28年5月16日～7月31日

☆公益財団法人日本発明振興協会：「平成28年度発明研究奨励金」

<http://www.jsai.org/shoureikin28.html>

分野等：発明考案の試験研究であって、次の事項に該当し、その発明考案の実施化もしくは展開に必要と認められるもの。

- (1) 特許権又は実用新案権として登録済みのもの。
- (2) 特許又は実用新案を出願し、既に公開され、かつ審査請求済みのもの。
但し、係争中のものは除く。
- (3) 平成6年1月1日以降出願の実用新案は、実用新案技術評価書入手済みのもの。

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

☆公益財団法人東洋食品研究所：「平成28年度食品研究助成金」

<http://www.shokuken.or.jp/subsidize.html>

分野等：

1. 食品資源に関する分野：農産原料栽培、育種に関する研究等
2. 食品科学に関する分野：安全・衛生、機能・栄養、食品物性に関する研究等
3. 食品加工に関する分野：製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通に関する研究等

公募期間：平成28年5月1日～7月31日

☆公益財団法人岩谷直治記念財団：「岩谷科学技術研究助成」

<http://www.iwatani-foundation.or.jp/>

分野等：

1. 新しいエネルギー源
2. 新しい燃料
3. エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化およびそれらのシステム
4. エネルギー材料
5. 低温の利用
6. 環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性

公募期間：平成28年6月1日～7月31日

☆やずや食と健康研究所：「2016年度助成研究」

<http://yazuken.jp/subsidy/outline/>

分野等：さまざまな食品・食物・食生活習慣と健康とのかかわりに焦点を当てた研究

公募期間：平成28年7月4日～8月4日

.....
☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「平成28年度助成」

<http://www.006.upp.so-net.ne.jp/refec/youryou28.pdf>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募締切日：平成28年8月24日
.....

☆公益財団法人サントリー生命科学財団：「平成28年度SUNBOR GRANT」

<http://www.sunbor.or.jp/topics/index.html>

分野等：生体内有機低分子の時空間局在解析や計測による生命現象の解明

公募締切日：平成28年6月30日
.....

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成28年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野、総合防災科学分野

公募期間：平成28年1月5日～8月31日
.....

☆公益財団法人ホクト生物科学振興財団：「平成28年度助成先公募」

<https://www.hokto-kinoko.co.jp/etc/bio.php>

分野等：バイオテクノロジーを主体とする調査・研究・技術開発等で新規な内容を擁し、将来にわたってバイオテクノロジー等生物科学の研究開発に一定の貢献をするものと認められるもの。

公募締切日：平成28年8月31日
.....

☆一般財団法人油脂工業会館：「平成29年度研究助成」

<http://www.yushikaikan.or.jp/system.html>

分野等：

1. コロイド・界面科学及び石鹼・界面活性剤工業に関する技術の分野
2. 油脂・脂質に関する科学及び油脂加工技術の分野
3. 健康・美・清潔と生活の科学に関する研究・技術の分野

*上記の三分野とするが周辺の分野も包含する。

公募期間：平成28年6月1日～8月31日
.....

☆公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団：「2016（平成28）年度研究助成」

http://www.yazaki-found.jp/applications/research_grants.html

分野等：エネルギー、新材料、情報

公募期間：平成28年6月1日～8月31日
.....

☆公益財団法人トヨタ財団：「2016年度研究助成プログラム」

<http://www.toyotafound.or.jp/program/research.html>

分野等：「社会の新たな価値の創出」に結び付くことが期待される共同研究、または個人研究のプロジェクトを対象に助成を行う。

公募期間：平成28年5月16日～9月2日

.....

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「研究開発助成（平成28年度）」

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF/h28bosyu.html>

分野等：科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

公募期間：平成28年4月1日～9月30日

.....

『研究開発関連以外の資金』

☆第1回『知』の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム運営等委託事業（農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター）

<http://sto.affrc.go.jp/shotatsu/koubo/20160526koubo>

分野等：「知」の集積と活用においては、一定の課題の下で共同で研究開発に取り組むグループ（研究開発プラットフォーム）の形成を推進することとしている。研究開発プラットフォームの体制の整備や研究戦略の策定等を推進するため、研究開発プラットフォームの活動を支援する。

公募期間：平成28年5月26日～6月24日

.....

☆平成27年度補正予算 地域新成長産業創出促進事業費補助金（農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業）（2次公募）（農林水産省）

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k160428005.html>

分野等：農林水産物・食品の海外展開に向けて、鮮度の保持を始め、生産・加工・流通・海外販売の一連の流れの中で生じる課題を商工業の先端技術やノウハウの活用により解決する取組を支援する。

公募期間：平成28年4月28日～6月30日

.....

☆平成28年度ロボット導入実証事業（一般社団法人日本ロボット工業会）

<http://www.jara.jp/hojyo/koubo.html>

分野等：

(A) ロボット導入実証補助事業

ものづくり分野やサービス分野におけるロボット未活用領域へのロボット導入の実証を行う事業者に対し、当該実証事業に要する費用の一部を補助する。

(B) ロボット導入F S補助事業

ものづくり分野やサービス分野におけるロボット未活用領域へのロボット導入を検討する事業者に対し、当該ロボット導入についての実現可能性調査を行うための費用の一部を補助する。

公募期間：平成28年4月26日～6月30日（2次締切）

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産関係分野等の新技術情報の紹介

園芸関係（野菜）：シソサビダニにより発生するオオバのシソモザイク病とサビ症への対策

愛知県のシソ生産量は、全国1位でその約44%（平成22年野菜統計）を占めています。シソに被害を及ぼすシソサビダニは、平成24年に本邦で初めて報告されましたが、平成26年8月に高知県のシソ圃場で発生し、シソモザイク病とともに報告されました。その後、愛知県でも平成27年3月にシソモザイク病、同年12月にシソサビダニの発生が報告されました。シソモザイク病を起こすウイルスは、シソサビダニが媒介してシソに感染します。

シソサビダニは苗の新芽付近でよく増殖するので、苗床を本圃と離れた場所に設置し、ハダニ防除と兼ねて殺ダニ剤で良く防除し、シソサビダニの寄生した苗を本圃に持ち込まないようにすることが基本となります。シソサビダニは、非常に小さく普通の虫眼鏡では見えず、10倍程度のルーペでようやく見えます（紡錘形で淡黄色）。本圃等でシソモザイク病が発生した場合には、速やかに抜き取り、袋に収容して搬出し土中に埋設します。シソサビダニの広がりには人に付着して運ばれるので、処理株からの脱落や、処理した手で別のシソに触れると伝染します。シソサビダニに対する登録農薬としては、殺ダニ剤のコロマイト剤がありますが、使用回数は2回のみです。オオバで使われている生物農薬のスワルスキーカブリダニでは、シソサビダニは防除できません。まだ、研究中で登録されていませんが、コハリダニ類がサビダニ類の天敵として効果的とされていますが、増殖法などが未解明ですので、土着天敵を使う「特定農薬」としての使用も難しいと思われます。総合的防除対策については、上記の内容を踏まえるとともに、平成27年度から農研機構中央農業研究センター、愛知県農業総合試験場等による研究プロジェクトが開始されていますので、研究成果が待たれます。

愛知県：平成27年度病害虫発生予察特殊報第1号「シソサビダニ」

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2015/tokusyuhou/tokusyuhou2404.pdf>

高知県：平成26年度病害虫発生予察特殊報第2号「シソモザイク病（仮称）」

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/download/?t=LD&id=5692&fid=37104>

平成27年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 実用技術開発ステージ

http://www.s.affrc.go.jp/docs/gaiyou/pdf/pdf/27001c_gaiyou.pdf

農研機構HP：トマトサビダニのトマトでの増殖・被害と天敵の発見

<https://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/vegetea/2001/vegetea01-23.html>

アリスライフサイエンス株式会社HP：トマトの土着天敵トマトツメナシコハリダニの実用化

<https://www.jataff.jp/project/kassei/gallery06.pdf>

.....

茶：茶の輸出促進

茶は、「農林水産業の輸出力強化戦略」の中の農産物として、花き、青果物、牛肉、コメと並んで有望な輸出実績のある産品となっています。輸出額を更に伸ばしていくためには、品質、ブランド化、海外での嗜好への適合等と並んで、海外の諸規制をクリアする必要があります。その1つに、農薬の残留基準に適合する必要があります。農薬については、国内外で、使用可能農薬の種類が異なること、残留基準が異なることがあり、輸出相手国の実情把握が不可欠であり、それをクリアできる国内での防除体系、生産方法の見直しが必要です。また、茶の輸出先国での放射性物質検査の基準値に適合していることが必要です。

農林水産省HP：第20回病害虫防除フォーラム

茶（煎茶、玉露）の新たな防除体系の確立・導入

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/pdf/04_tya.pdf

農林水産省HP：東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う各国・地域の輸入規制強化への対応

http://www.maff.go.jp/j/export/e_info/pdf/kisei_all_160601.pdf

.....

編集後記

先日、農林水産省主催の「農林水産業の輸出力強化戦略」の説明会に参加しましたが、2020年に農林水産物・食品の輸出金額を1兆円にする目標があり、2015年には7,451億円となっています。このうち、農産物の品目別（加工品以外）では、2012年統計で花き80億円、青果物80億円、牛肉50億円、お茶50億円、コメ（加工品を含む）130億円となっており、農産物の割合は低く、今後、農産物が大幅に伸びていくのかやや疑問の感がありました。ところが、最近（6月6日付け朝日新聞）、野菜等を低温下で空気の成分を変えて冬眠させた青果物を船で香港等に運ぶ方法が開発され、これによると輸送料が従来の航空便と比べて1/10～1/30と安くなり、国内で1パック600～700円で販売されているイチゴが香港で1000円で販売できるようになる（従来法では約2000円）とのこと。九州地域での取組みが先行していますが、茨城、栃木、群馬県でも開発企業と貯蔵・輸送試験を行っており、愛知県豊橋市でも試験を重ねるとのことです。船で、新鮮なまま、安価に、青果物を輸出できるようになると、今後の青果物等の輸出に弾みをつけることが出来るのではないかと思います。東海地域でもこの輸送技術に関心を持ち、取り組んでいくことを期待したいと思います。

ところで、最近読んだ本に、坂村 健著「IoT とは何か」(2016 年発行 角川新書)があります。著者は、1980 年代にリアルタイム組込 OS (オペレーティングシステム)である「トロン」を開発しましたが、「トロン」は、現在では自動販売機、自動車エンジン燃料噴射システム、携帯電話、デジタル家電等多岐にわたって使われています。IoT (アイオーティーと読む)は、「Internet of Things」の略語で、モノをインターネットで繋ぐという意味にとらわれていますが、著者は、それに留まらず、「IoT は、むしろ『インターネットのように』会社や組織やビルや住宅や所有者の枠を超えてモノを繋ぎ、まさにオープンなインフラを目指す言葉と捉えるべきだ」としています。「トロン」は、閉じたモノ(機器)、空間(家、工場内)、所有者の中で使われていますが、クラウドとオープンなアプリを使って繋ぐことによって、世の中を大きく変えていくであろう」と述べています。そして、これがその発展方向であると述べていますが、一方で、オープンデータ等の情報管理(ガバナンス)の重要性を述べており、欧米と比べて日本におけるその対応の難しさについて、本書の大きな部分を割いて述べています。2020 年の東京オリンピックを目指し、公共交通機関の保有するデータをオープンにすることによって、さまざまなアプリで旅行者等に便利な情報を提供できるようにする、旅行者等が街角でカードをかざすと様々な情報を得られるようにするなどのアイデアが示され、IoT の将来的な姿を窺うことができます。本書によって、流行の言葉「IoT」が、この道の第 1 人者である著者の解説によって、将来展望も含めて良く理解できます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL & FAX 052-789-4586

E-mail: bio-tech.co*go8.enjoy.ne.jp *を@に書き換えてください

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>